

2021年度自己評価結果公表シート

作成 カトリック聖マリア幼稚園

1. 本園の教育目標

キリスト教の愛の精神を基に きよく あかるく 元気な子の育成を目指している

2. 保育方針

キリスト教の精神に基づき、隣人に対する愛、祈る心、人間としての正しい生き方の基礎を培う子どもの発達に応じて、生活や遊びの中で、人と関わり、積極的に物事に取り組む意欲、豊かな感性を身につけるように導く

3. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ①キリスト教の精神に基づいた教育課程の編成・実施に関して、教職員間の共通理解を図る
また、園内外の研修に参加し、教職員の資質の向上をはかる
- ②子どもの実態を的確につかみ、また、自らの保育を客観的に見つめて指導の改善・教育内容の改善に取り組む

4. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・教職員がよりさらなる資質の向上に努める	・新型コロナウイルスの為、行事は時間を短縮し、分散して行ったが教育内容が薄くなったり、保育の質の低下に繋がらないよう配慮し十分に検討し取り組む事が出来た。 ・各学年で行事ごとに保育の発表をし教職員全体で討議をした。又、園外から講師を招き研究保育を行い課題の抽出、改善を行った。
・キリスト教保育の深化・充実	・園外での研修は全て中止であったが、教会の神父様より直接指導を受け、キリスト教の精神に基づき隣人に対する愛、祈る心、人間としての正しい生き方の基礎を子どもたちに培う事に力をいれた。
・園内環境設備の見直し	・新型コロナウイルス感染対策を始め、園内での感染対策として、衛生管理を強化した。

<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労有無に関わらず1号認定の園児も保育前後に一時預かり保育を実施した。 ・週1回のプレ教室（未就園児）・園庭開放の開催、0・1歳児の無料サークルを行い、保護者の育児軽減を図れるように保護者雑談会も実施した。
---	---

5. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を踏まえながら、教育課程の編成、実施に関して何度も話し合い、共通理解を図りながらよりよいカリキュラム創りを行うことが出来た。又、教職員で保育発表や、研究保育を行う事により、資質の向上にも努めることができた。キリスト教の精神に基づき、優しい心、思いやりの心を育てることに力をいれたので、子どもたちが安定して過ごしていたように思う。

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導力向上へのより一層の具体的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事ごとの保育発表や研究保育を続けていく
<ul style="list-style-type: none"> ・キリスト保育の深化・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・カトリック研修に積極的に参加する。
<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・食物を栽培・収穫・食することで、野菜等苦手な食物を克服し、楽しく食が進むための環境を考える。又、健康な身体作りを目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ・園内環境・衛生・安全管理の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・園内衛星を強化する。 ・災害、不審者等への日常的な危険管理を、避難訓練等を通して周知していく。
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てと社会を繋ぐ役目を負っている事を自覚し継続して取り組む。

7. 2020年度 学校関係者評価

子ども達一人一人を温かく受けとめ、個性を大切にし、理解する力が身に付く等の教職員の資質が向上している。これにより、変化の多かったコロナ禍でも子ども達が安定して園生活を送り、一つ一つの活動に意欲的に取り組んでいると感じる。また、子ども同士もお互いを優しく思いやる力が育っている。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底しつつ、行事等も工夫されており、保護者からの信頼もあつと感じる。

8. 財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められております。